

令和4年度 事業報告

第1 事業

令和4年度の我が国の経済情勢は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国の経済を取り巻く環境には厳しさが増す中、タクシー事業においても需要回復は鈍い傾向が続き、依然として厳しい経営状況にある。

このため、山口県に対して、長引くコロナ禍の影響により大幅な減収を余儀なくされる事業者の事業継続のための支援要望や燃料価格高騰により大きな負担となっている燃料費の一部支援要望を行ったところである。会員事業者においては、自治体等からの支援を活用しながら、乗務員の雇用を維持しつつ、一方で、エッセンシャルワーカーとして、国民の安定的な生活の確保や社会の安定維持の観点から、万全の感染防止対策を講じ、日夜必死に事業を継続しながら、公共交通機関の一翼を担っているところである。

未だ、終息の見えない新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響に伴い、依然として厳しい経営環境が続いているが、今後も感染状況や物価高騰を注視しながら、状況に応じて、国、地方自治体等に対して支援要望を行う必要がある。

このような情勢の中、山口県では、昨年9月に会員事業者から国に対して、タクシー運賃改定要請がなされ、3ヶ月間の受付期間中に申請車両数が全体車両数の7割に達したことから、国が運賃改定の要否について検討することとなった。

令和6年4月から改正される罰則付き時間外労働の上限規制の実施に備え、「働き方改革関連法」に関する説明会の周知を図るとともに、公共交通事業者にとって、交通安全・事故防止は、最大の使命であるという認識のもと、交通安全運動への参加や「無事故月間」を実施するなどの取り組みを行った。また、過疎地域における「乗合タクシー」の普及・促進については、交通空白地を抱える自治体にとっては重要な課題であることから、「地域公共交通会議」等に積極的に出席し、乗合タクシーの活用促進となるよう取り組みを行った。

なお、当協会において、執行部及び専門委員会を中心に取り組んだものは次のとおり。

【新型コロナウイルス感染症拡大への対応について】

- (1) 山口県知事に対し新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等による支援要望
- (2) 山口県公共交通事業継続総合支援補助金事業の実施
- (3) 会員事業者への支援として1カ月分の協会費の免除
- (4) 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの周知
- (5) 雇用調整助成金に係る情報収集及び周知

【ライドシェア等への対応について】

コロナ禍の中、動きが止まっているものの、全タク連主催の委員会等に参加し、「ライドシェア」等に関する情報把握に努めた。

【利用促進・地域交通確保対策について】

- (1) 「タクシーの日」の取り組みとして「8月5日はタクシーの日」「安全で便利なタクシーをご利用ください」と記載したウェットティッシュ(9,000個)をタクシー利用者に配布し、利用促進を呼びかけた。
- (2) 観光タクシー「駅から観タクン山口」(県内JR5駅起点)及び「観光スポットお手軽タクシー」(新山口駅～秋吉台経由～萩市内)を継続実施した。
【「駅から観タクン山口」令和4年度利用実績(5駅)43件】
- (3) 9月から11月の観光シーズンに合わせ、山口市内の観光地を巡るコミュニティバスと周遊タクシーを組み合わせた運行により観光客の交通手段の確保と利便性の向上を図った。
【観光周遊1日乗車券】
- (4) 地方自治体が主宰する地域公共交通会議等に積極的に参画し、地域住民の足の確保について協議するとともに、地域公共交通としての乗合タクシーへの転換(働きかけ)や情報交換を積極的に行った。

○地域公共交通会議等(書面協議を含む)

会議名称	開催数	会議名称	開催数
岩国市地域公共交通会議	5回	防府市地域公共交通活性化協議会	3回
和木町地域公共交通会議	1回	山口市地域公共交通会議	4回
周防大島町地域公共交通活性化会議	5回	宇部市公共交通協議会	5回
柳井市地域公共交通会議	2回	山陽小野田市地域公共交通会議	5回
平生町地域公共交通会議	1回	下関市地域公共交通会議	4回
光市地域公共交通会議	2回	萩市地域公共交通会議	1回
下松市地域公共交通活性化協議会	4回	阿武町地域公共交通会議	3回
周南市地域公共交通会議	2回	長門市地域公共交通協議会	4回
田布施町地域公共交通協議会	1回	美祢市地域公共交通会議	4回

- (5) ボランティア輸送への対応として、地方自治体が主宰する運営協議会に積極的に参画し、NPO等によるボランティア輸送について、道路運送法の厳格な運用を求めるとともに、タクシーによる対応の可能性を最大限迫及した。

○運営協議会

協議会名称	開催数	協議会名称	開催数
田布施町福祉有償運送運営協議会	3回	下関市福祉有償運送運営協議会	1回

【交通安全・交通事故防止について】

- (1) 交通安全運動等の実施
春・秋の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検運動を実施し、各運動の重点目標を中心に取り組んだ。

○春の全国交通安全運動		
期 間	令和4年4月 6日 (水) ～4月15日 (金)	10日間
○夏の交通安全県民運動		
期 間	令和4年7月11日 (月) ～7月20日 (水)	10日間
○秋の全国交通安全運動		
期 間	令和4年9月21日 (水) ～9月30日 (金)	10日間
○年末年始の交通安全県民運動		
期 間	令和4年12月10日 (土) ～令和5年1月3日 (火)	25日間

(2) 山口県タクシー無事故月間の実施

年末年始の輸送繁忙期である令和4年12月1日 (水) から令和5年1月31日 (月) の2か月間を山口県タクシー無事故月間と定め、交通事故防止活動を推進した。

(3) 研修・講習への参加

「運行管理者等講習」(基礎・一般) 及び「整備管理者研修」(選任前・選任後)、「適性診断」、「安全マネジメント講習」等への受講・受診について、「協会だより」等により参加の呼びかけを行い受講促進に努めた。

○運行管理者等講習 (基礎)

開催日	開催地	受講者数
7月20日～22日	山口市	12名
11月 9日～11日	山口市	15名
計	2回	27名

○運行管理者等講習 (一般)

開催日	開催地	受講者数
7月28日	山口市	16名
8月25日	周南市	23名
8月31日	柳井市	17名
9月 9日	宇部市	9名
10月 6日	下関市	20名
10月28日	山口市	13名
2月16日	山口市	15名
計	7回	113名

○整備管理者選任後研修

開催日	開催地	受講者数
1月26日	山口市	29名
2月 8日	山口市	28名
計	2回	57名

○運行管理者試験（CBT試験・旅客）

開催期間	受験者数	合格者数	合格率
第1回（令和4年8月6日～9月4日）	37名	12名	32.4%
第2回（令和5年2月18日～3月19日）	29名	9名	31.0%
計	66名	21名	31.8%

○自動車運転者適性診断（タクシー事業者）

	一般	初任	適齢	特定	計
本所	38名	86名	171名	7名	302名
ナスバネット	44名	3名	61名	—	108名
計	82名	89名	232名	7名	410名

(4) FM山口の「交差点及び道路横断中の交通事故防止」「子供を交通事故から守ろう」をテーマとした「横断旗復活運動」に協賛し、設置個所や利用者が減りつつある横断旗の復活のため、「(一社)山口県タクシー協会」の名称入り横断旗を設置し、子供を交通事故から守り、安全安心の地域づくりに寄与した。

【設置本数：令和4年度 県内30本（宇部、下関地区において設置）】

【労務対策について】

- (1) 令和6年4月から改正される罰則付き時間外労働の上限規制の実施に備えるため、各地域で実施された山口労働局主催の「働き方改革の対応に向けた説明会」の周知を図った。
- (2) 山口労働局による「自動車運転者時間管理等指導員」を活用したタクシー運転手の労働時間の管理について、各事業者への訪問指導を行い、乗務員の労働時間の適正管理について指導を行った。【令和4年度訪問指導実績：7事業者】
- (3) 山口県・山口運輸支局等と共催で、人手不足が深刻な公共交通の担い手確保に繋げるための「公共交通担い手確保ミニフェア」を開催し、来場者に対して、やりがいや働きやすさについてアピールした。【ミニフェア来場者23名（対前年比－1）】

【特定地域特措法等への対応について】

- (1) 令和5年1月に山口市において、タクシー準特定地域合同協議会（下関市・宇部市・山口市・防府市・周南市・岩国交通圏）を開催し、公定幅運賃改定要請の報告と意見交換を行った。
- (2) 令和4年9月に、準特定地域における適正化及び活性化事業の取組み状況に関するフォローアップ調査を実施した。

【タクシー運転者登録制度への対応】

- (1) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る新規運転者講習を、専任講師により安全・法令・接遇教育等カリキュラムに従い実施した。
- (2) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る運転者証交付申請等に迅速に対応した。

○登録実績

区 分 項 目		4年度実績	3年度実績	増 減
		件 数	件 数	件 数
登録申請		1 1 3	9 2	+ 2 1
運転者証交付		2 0 2	1 6 9	+ 3 3
運転者証訂正		4 5 0	5 0 0	- 5 0
運転者証再交付		3	3	0
原簿謄本交付		0	0	0
原簿閲覧		0	0	0
業務経歴証明書交付		0	2	2
乗務証交付		2	0	+ 2
乗務証訂正		1 8	1 0	+ 8
乗務証再交付		0	0	0
登録取消		0	0	0
登録事項の 変更	免許証の有効期間等	4 5 0	5 0 0	- 5 0
	事業者変更（会社異動）	8 9	7 7	+ 1 2
運転者証の返納		3 2 4	3 2 5	- 1

○講習受講実績（年間23回実施）

		4年度実績	3年度実績	増 減
新規講習受講者数		1 0 4	8 6	+ 1 8
地理講習受講者数		1 0	5	+ 5
合 計		1 1 4	9 1	+ 2 3

(3) 諮問委員会委員に対し、登録・講習実績等の報告を行うとともに、運転者登録制度に関する意見を伺うなど、登録事務を誠実に行った。

【広報活動について】

- (1) 交通安全運動期間中において、県民への交通安全思想の普及を図るため、ラジオ放送（FM山口、KRY山口放送）を通じ、交通事故防止を呼びかけた。
- (2) 毎月の行事、行政庁からの通達、全タク連からの指示や協会の取組み内容などタクシーを巡る状況や動きについて、毎月定期発行の「協会だより」により全会員に周知した。
- (3) 協会ホームページの内容を充実させ、利用者が閲覧しやすいものとした。

【その他】

島根原発の災害発生時における福祉タクシーによる緊急輸送に関する協定に基づき「令和4年度防災業務関係者研修」が開催され、会員事業者など7名が参加し理解を深めた。